

Photo Yaotsu



杉原千畝さんの志を熱演

ファミリーセンター大ホールで、八百津小学校5・6年生の児童55人が、「創作劇 メノラの灯」を上演しました。杉原氏によって命を救われた現代のユダヤ人と、日本人の子孫の児童が人道の丘公園で出会い、途中で杉原氏の偉業などを紹介しながら、平和の大切さや命のつながり、人への思いやりや人としてどう生きていくべきかなどを気づいていくストーリーです。

出演した児童らは、「ビザ1枚」など、同校の卒業生が作った挿入歌を交えて熱演。1学期から総合学習の時間などに稽古を積み重ねてきており、長い台詞なども間違えずに演じることができました。



創作劇「メノラの灯」を熱演する児童ら



寄付金を手渡される岡田組合長(左)



「福祉のために役立てて」と寄付をいただきました

めぐみの農業協同組合、代表理事組合長 岡田忠敏さんらが役場を訪れ、11月16日に美濃加茂市蜂屋町「恵昇苑みのかも」で開催された、人形供養祭で参列者から寄せられた志納料、158,856円を寄付していただきました。

人形供養祭では、来場者83組(約200名)、人形持込数約2,000体が集められました。



八百津中学校、岐阜県ユネスコ青少年グランプリ「人権文化賞」を受賞

八百津中学校で学校公開日に合わせて、岐阜県ユネスコ青少年グランプリ「人権文化賞」の授賞式が行われました。

同校では、環境整備委員会が中心となって「フラワー・ブラボー・コンクール (FBC)」の取組を20年近く全校生徒で行っています。

種から育てる命の教育、真心を込めて行う勤労奉仕、育てた花を地域の福祉施設等に贈呈する博愛、人権に関わる短歌を作り人権教育の推進など、4つの柱を元に活動を行い、本年7月にはFBCで文部科学大臣賞を受賞しました。こうした取組や実績が高く評価され、今回受賞することとなりました。



代表受領した生徒会長の上野拓剛さん(左)



全国大会への出場報告をした小林南さん(左)



全国大会出場を報告

1月5日から東京都にある東京体育館で開催される、第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会、高校バレー最大の祭典『春の高校バレー』に出場する、和知の小林 南さんが役場を訪れ、赤塚町長に大会出場を報告をしました。

小林さんは、岐阜県立益田清風高等学校の女子バレーボール部に所属し、セッターのポジションで攻撃をつかさどる司令塔として活躍され、11月9日に行われた岐阜県代表決定戦において決勝戦で県立岐阜商業高校に3-1で勝利し、全国大会への出場を決めました。

また、平成26年12月23日に大阪府にある高槻現代劇場で開催される、第24回日本クラシック音楽コンクール全国大会のピアノ部門(中学校女子の部)に出場する、伊岐津志の河村友梨香さん(八百津中学校)が役場を訪れ、赤塚町長に大会出場を報告をしました。

河村さんは、4歳から電子ピアノ、小学1年生からピアノと幼い頃から鍵盤楽器に興味を持ち、中学1年生になってから全国大会を目指して音楽コンクールに出場しており、10月に長野県で行われた日本クラシック音楽コンクール地区本選会において優秀賞を受賞し、全国大会への出場を果たしました。

全国大会では、モーリス・ラヴェルの『水の戯れ』を演奏し大会に挑みます。



全国大会への出場報告をした河村友梨香さん(左)